

2022年度 栃木県立高根沢高等学校 グランド・デザイン

学習指導部

1. 学ぶ姿勢を身につけ、学習習慣の確立に努力できる。
2. 将来を見据え、得意分野を伸ばし苦手分野の克服に努力できる。
3. 社会に貢献すべく、より高い目標に向かって、努力を継続できる。

健康指導部

1. 基本的な生活習慣や生活リズムを確立し、健康に生活するための基盤を身につけ、自ら健康についての実践力を養い、地域社会等に貢献できる。
2. 防災教育や避難訓練等を通じて、安全・防災に関する意識を高め、災害時に対応できる能力を養い、災害時に自他の身を守り、正しく判断・行動することができる。
3. 健康観察、健康相談体制の徹底を目指し、疾病やけが等の予防への実践力の育成や安全意識や危険回避態度の育成することで、健康で安全な学校生活を送ることができる。

各部(指導系) 生徒育成ビジョン

進路指導部

1. 進路実現に向け全生徒が自宅学習専用ノート(Bノート)を持ち、毎日最低限の課題をこなすことで家庭学習の習慣化と基礎基本の定着を図ることができる。
2. 外部の講演会や先輩からの進路報告会等での有益な情報を収集し、ポートフォリオを活用して、効率よく自己を振り返り正しく判断・行動することができる。
3. 進路相談室に自ら訪れ、自分の進路に関わるデータを的確にキャッチするとともに面接等における礼儀作法や最低限のマナーを身に付けることができる。

生徒指導部

1. 他者を尊重した上で、過ちを過ちとして認め素直に謝ることができる。また感謝の気持ちを素直に伝えることができる。
2. 挨拶・言葉遣い・身だしなみ等の基本的な生活習慣を身に付けており、人として恥ずかしくない立ち居振る舞いができる。
3. 自己指導能力を身に付け、その場に応じた適切な判断及び行動ができる。

特別活動部

1. 学校行事や部活動等を通して、バランスのとれた心身を育成することができる。
2. 各委員会活動等を通して地域活動やボランティア活動に参画し、地域社会に貢献できる。
3. 個性を大切にしながら自律した行動を心がけ、各行事や委員会活動等に協力して取り組み、より良い学校生活作り等に参画できる。

各学年 生徒育成ビジョン

第1学年

1. 基本的な生活習慣の確立
2. 相手の気持ちを考えて行動できる心の醸成
3. 自ら主体的に学ぶ姿勢の養成および基礎学力の定着

第2学年

1. 基本的な生活習慣の確立
2. 豊かな人間性の育成
3. 基礎学力の定着および学力向上、進路意識の高揚

第3学年

1. 基本的な生活習慣の確立
2. 規範意識の定着
3. 進路実現



校訓 強く 明るく 聡く

教育目標 1. 真理を求め、学び向上する人間を育成する【知】 2. 自他を愛し、礼節を重んじる人間を育成する【徳】 3. 心身ともに、たくましい人間を育成する。【体】

目指す学校像

1. 基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を実践する学校
2. キャリア教育をとおして職業観・勤労観を涵養し、多様な進路目標に対応した教育を実践する学校
3. 地域と連携し特色ある学校行事を行うことで、創造性に富み、社会に貢献できる人材の育成を実践する学校

育てる生徒像

職業的・社会的・精神的に自立できる生徒の育成

1. 基本的な知識・技術を身につけ、より高い目標に向かって努力できる生徒
2. 自ら学び、考え、判断し、地域社会の活性化に貢献できる生徒
3. 自他をかけがえのない存在として認め、大切にできる生徒
4. マナー、モラル、ルール等を理解し、正しく判断し、行動できる生徒
5. 自分の役割を果たしながら他者と協働して、粘り強くチャレンジできる生徒
6. 健康の維持・管理や体力の増進に努め、安全を意識した行動のとれる生徒

国語

1. 基本的な漢字や語彙の習得につとめ、多様化する社会に対応すべく、異なる知識を培う気概を持つことができる。
2. 様々な時代の文章にふれ、日本語や文化・思想の流れを理解していくとともに、自己の考えを地域のために、役立てることができる。
3. これまでの学習の積み重ねが今後の学びにつながり、まわりの仲間や大人との交流を深めるきっかけとなるような、学習の姿勢を継続することができる。

地歴公民

1. 現代社会の時事問題に関心をもち、グループワークや発表などを通して公民的資質を身につけ、社会に生きる「主権者」としての力を伸ばす。
2. 図や史料を活用し、出来事の因果関係に気づく思考力を伸ばし、論述問題などを通して判断力・表現力を伸ばす。
3. 諸外国の文化や宗教の多様性などに触れ、その中における日本の姿をとらえるとともに、SDGsなど地球規模で考える、グローバルな視点を身につけさせる。

数学

1. 実社会に必要な基礎的な計算力を身につけるとともに、数的な概念・定理を公式と共に体系的に理解し、身近な事象を数値化することで数学的に表現・処理することができる。
2. ICT機器の活用などを通して数的事象を根拠に基づき論理的に考察するとともに、身近な事象の本質を数的な事象と関連づけながら的確に把握することで、実社会の見通しを持ち、よりよく改善したり新たな課題を見いだしたりすることができる。
3. 数学的なコミュニケーションを通して他者の考えを受容的に考察するとともに、粘り強く考え主体的に課題を発見し、自ら評価改善することで、正解のない問いや自ら設定した課題に挑戦し解決に導くことができる。

理科

1. 自然界の法則を探求することの大切さを理解し、日常生活における様々な現象を科学的に捉え、メディアに溢れる様々な情報を正しく選別・整理することができる。
2. 実験やグループワークに取り組み、他者と協働する姿勢を身につけるとともに、地球環境や地域の自然を守ることの大切さを理解することができる。
3. 健康管理や感染症予防について科学的に理解しようと努め、正しい行動を取ることができる。

各教科 生徒育成ビジョン

保健体育

1. ルールを尊重し約束事を守る態度を確立できる。運動がうまく、また安全にできるようになる方法を身に付け、生涯を通じて自分の体調を整え、体力を高めていくことができる。
2. 仲間と協力・協調したりして、運動の楽しさを感じるとともに、集団スポーツでは戦術や作戦を立て、また、いろいろな技や技能を身につけるために、失敗を恐れずチャレンジできる。
3. 心身の健康や安全に関心を持ち、意欲的に学習し、自ら健康で安全な生活を実践できる。健康・安全の意義と、学習した知識とともに『健康的な生活を実践する力』を、自分自身の日常生活と関連づけて課題解決を図ることができる。

芸術(音楽・美術)

1. 芸術に関する各科目の 特質について 理解するとともに 意図に基づいて表現するための技能を身につけることができる。
2. 創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができる。
3. 主体的に芸術の学習に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わることができる。

外国語(英語)

1. 基本的な語彙や文法を使って、自己発信をすることができる。
2. 異文化に関する学びをとおして多様な価値の存在を知り、それを身近な人間関係において生かすことができる。
3. お互いに教えあい、学び合いながら、さまざまな情報を有効に活用し、英語学習に取り組みすることができる。

家庭

1. 基礎的な知識を習得し、自分の身近な生活課題に気づくことができる。
2. 生活課題を解決する手立てを考えることができる。
3. 知識を活かし、実習・実技に協力して取り組むことができる。

商業

1. 商業の各分野について概念等を理解し、知識及び技術を習得することができる。
2. ビジネスに関する課題を発見し、知識及び技術を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけることができる。
3. 知識及び技術を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みの中で、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけることができる。